

MY FRIEND Vol.5

友達の友達は…みんな友達。そんな思いを込めて自分の友人知人をリレーで紹介するマイフレンドコーナー。今月は、上区の佐々木真由美さん(32)です。



左から真由美さん、長女的美紅ちゃん(6)、旦那さんの博紀さん(35)

「ドライブ好きな2人です」

結婚9年目の真由美さんは、旦那さんの博紀さん、長女的美紅ちゃん、おじいちゃん、おばあちゃんとうるまじ。博紀さんは車の整備士。自宅の工場でおじいちゃんと一緒に働いています。

真由美さんは、家事や掃除洗濯、ときには車の掃除も手伝ったりします。2人は大の車好き。黒のスポーツカー「レガシー」が愛車です。「やっぱり車はマニュアルミッション(5速)じゃないとだめですね」。2人とも口を揃えて言います。

「博紀さんはよく子どもと遊んでくれるし、子どもの相談とか、話を良く聞いてくれます」と、特に旦那さんに注文はないという真由美さん。仲のいい2人です。そんな2人は美紅ちゃんに「思いやりのある、優しい子に育ってほしいですね。それと、自分に自信をもっているなことにチャレンジしてほしいです」と優しい口調で話します。

……Q&A……

—休みの日は、美紅と遊んでいるか、家族で買い物に出掛けます。

—趣味は、ドライブです。あとは毎日の出来事など日記を付けています。

—今、してみたいことは、家族旅行をしたいですね。

—村へと言。もつと村をPRするようなイベントがあればいいですね。

—誰を紹介してくれますか。緑区の砂子智春さんです。

「皆さんのおかげでしたー」



前川 ウメさん(白井・75歳)

生涯の思い出を語って

《299》

★…若いころは土方を稼ぎました。国道からその枝線、久喜、小袖、普代までなんす。砂利敷き、砂まき、ヘルメットをかぶって何でもやりました。組合(普代村漁協)の加工場にも行っていました。サゲ、ワガメ、コンブを稼ぎいだなんす。★…皆さんのおかげで稼げーでこの年になります。今は息子と2人分の飯支度(いひさたせ)をしながら、家の裏の畑(うら)をすながら、行って、アツだの豆(まめ)のイモ、ダイゴ(大根)をまいます。

ふるさと旬の味 300



赤かぶの色とり漬け

- 材料(4人分)
- 赤かぶ(茎含む) 1kg
- ニンジン 1kg
- 白菜 1kg
- 小松菜 1kg
- ざら砂糖 50g
- 塩 30g
- 酢 少々

- 作り方
- ①赤かぶ、ニンジン、白菜、小松菜は食べやすい大きさに切っておく。
- ②切った赤かぶ、ニンジンは甘酢に漬けておく。
- ③白菜、小松菜は塩もみをして、しんなりさせておく。
- ④材料を全部混ぜ合わせて出来上がり。

●赤坂さんからひとこと
塩加減はお好みに、また焼酎を加えると味が変わりにくなり、おいしく食べられます。あとは冷蔵庫で保存してください。



あすなろ生活研究グループ
赤坂 千枝子さん
(白井・73歳)

文芸の世界

川柳愛好会
7月例会作品

反抗期そのうちきつと変わるはず
あの人はいいい人だから慕われる
三上 翠香

盆近かし心をこめて墓洗う
八十路坂登りつめたが今日も無事
深渡 汀女

選挙戦そのうち決まる達磨の目
野良着脱ぎほっと一息今日の無事
加差野静浪

人だから忘れることもあっていい
そのうちになんとかなるさとかく胡座
太長根英子

究極のヒーロー像はやはり父
ほればれと聞かいる風呂場からの歌
アリアバイが完璧すぎて疑われ

「草原」

5年 黒畑 智美さん

「たれ」のある文字の中心やバランスを考えて書きました。「はらい」の筆使いを丁寧にしました。



「小」
3年 赤坂 琴美さん

3年生になって習字の学習が始まりました。「はね」と「点」を気を付け、広く大きく書けました。



「おって チョッキン」

1年 太田 綾音さん

女の子の体の細かいところを切るのが難しかったです。手をつないでいるように上手に描けました。



ほくとわたしの
作品展の

普代小
図画
習字